

トピック1 8 ハートコープしが

ハートコープしがは、農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現をめざして設立したコープしがの子会社です。2018年11月に設立し、一人ひとりが社会・地域・組織の一員として、仕事を通じて「誰かの役に立ちたい」「誰かを笑顔にしたい」と頑張っています。

アグリプロダクツ部門では、コープのお店や青果加工センターから出る野菜くずを破砕、脱水してたい肥を製造、そのたい肥などを使って小松菜・ほうれん草を栽培。生産された小松菜・ほうれん草は、コープの宅配や店舗でご利用いただいています。

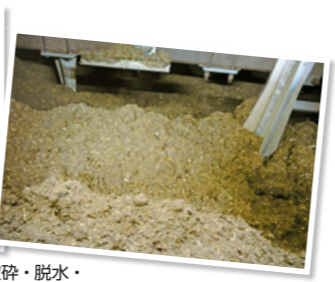
リサイクル・クリーン部門では、宅配や店舗で回収している商品案内書・仕分け袋・牛乳パックや卵パック、ペットボトルなどを分別・加工しています。店舗で回収した食品トレー・古くなった宅配の保冷箱（シッパー）などの発泡スチロールは減容レインゴッドに加工をします。また、常温の商品をお届けする折りコンテナの洗浄や、冷蔵商品のお届けに欠かせない蓄冷材の洗浄もしています。



野菜くずのたい肥などで、色鮮やかに育った小松菜



店舗や青果加工センターで出た野菜くずは、破砕・脱水・乾燥を経て24時間後にフカフカのたい肥に



額縁の原料などに使われています

発泡スチロールも大切な資源です。減容レインゴッドに加工することで、効率的に輸送でき資源価値が上がります。



宅配の商品を届ける折りコンテナも、組合員の財産です。美しく大切に使用しています。



ハートコープしが
ハートコープしがのコンセプトを表すロゴマーク。土色のハートが大地（農業）、ピンクが福祉、緑が環境、水色がびわ湖です。

職員の声

設立して1年6ヶ月、9人の仲間を迎え入れました。小松菜・ほうれん草の収穫と出荷準備作業、コープしがで回収されたリサイクル品の加工作業などをみんなが助け合いながら、毎日の目標を持って取り組んでいます。今では「自分の目標には届かなかったけれど、仲間を手伝い、チームとして目標に届いた」など、行動指針「仲間のために☆自分のために☆社会のために」をみんなで実践しています。

ハートコープしが 専務取締役 寺田 真一さん



トピック2 8 できるコトづくり制度

生協がめざしているのは「平和とよりよい暮らし」です。その実現には、一人ひとりが「私のできるコト」を積み重ねていくことが大切です。一人ひとりの「私の願い」が人とのつながりによって「私たちの願い」になり、「私たちのできるコト」が生まれます。そんな団体を応援しようと創設したのが、コープしが「できるコトづくり制度」です。

この制度は、一歩を踏み出す学びの場「できるコトづくり講座」と具体的な活動を資金面で支援する「できるコトづくり助成」があり、運営は、特定非営利活動法人しがNPOセンターに委託しています。スタートとなった2019年度は以下の団体を助成支援しました。

「活動助成」助成団体（3団体）

- 山門水源の森を次世代に引き継ぐ会（長浜市）：2001年～山門水源の森で保全活動に取り組む
- NPO子育てネットワーク志賀うりぼう（大津市）：2008年～大津市「つどいの広場にじっこ」を運営
- NORA（守山市）：2015年～地元農家と地域のママたちを繋ぐ農業体験などを実施



山門水源の森を次世代に引き継ぐ会：森林整備を効率的に行うための作業道作り。



コープで活動した経験は大きい。生産者、つながりを大切にする考え方はコープで学びました。

NORA：守山市立図書館内の「食育マルシェ」厳選の地元こだわり野菜が並びます。子どもたちが楽しめる工夫がいっぱい。



NPO子育てネットワーク志賀うりぼう：一時預かり保育スタートアップ事業

「はじめて助成」助成団体（5団体）

- Mom's fun「図書館と本でつながる子育て支援事業」
- おてんとさん「八日市おかえり食堂」
- ほっこりや「子どもの健全育成を図る活動」
- フードバンクびわ湖「フードドライブボックス設置事業」
- 菌（くさびら）LABO「菌を通じたツナガリづくりで文化の継承や生活の質を高める会」



Mom's fun：図書館を拠点に、地域の様々な人が交流を持ち、子育てを地域全体で見守る地域づくりを目指して活動されています。

できるコトづくり助成審査委員の声

この制度は、子どもやお年寄りが抱える課題、農業や食文化をめぐる変化、琵琶湖や森の環境問題など様々なテーマについて、個人が身近な課題として考え、取り組みを始めるきっかけになります。また、取り組みを通してコープしがさんや同じ課題意識を持つ仲間と繋がることでさらに豊かな取組みに発展することを期待できます。

できるコトづくり助成審査委員 平山 奈央子さん
（滋賀県立大学 環境科学部 講師）

